

1st

工程集約

1 設備内の複数の工程をワンチャックに集約



複数設備に跨る工程をワンチャックに集約



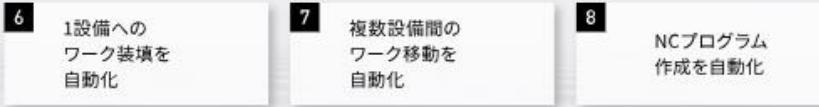
自動化システムがシンプルになる

2nd

自動化

ワークハンドリングを機械が代替

プログラミング作業をソフトが代替



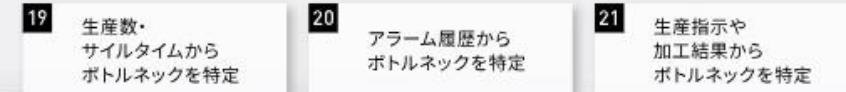
自動化時間の増大

新たな工程集約に挑戦できる

4th

データ分析・活用

様々な視点からデータを分析し、生産ラインのボトルネックを特定



分析結果を具体的な改善活動に活用



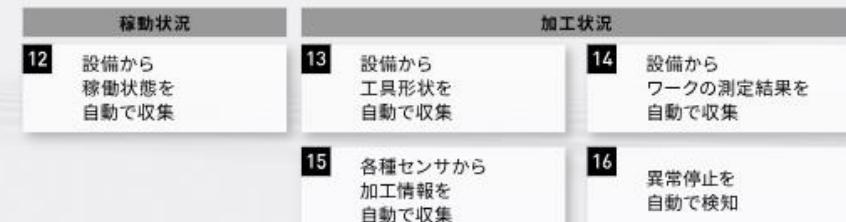
ボトルネックの特定が簡単になる

3rd

IoT・センシング・計測

1 設備のデータを蓄積・可視化

データが収集しやすくなる



複数設備・拠点のデータを一括管理

